

写真 ニュース

発行：埼玉県生活協同組合連合会

埼玉県のマスコット コバトン



県議会各政党・会派との懇談会 県内5政党・会派と 懇談しました

埼玉県議会の5政党・会派と懇談しました。懇談では、埼玉県生協連から今年度の活動や事業状況、消費者課題について説明し、意見交換しました。県生協連からは、岩岡宏保会長理事、滝澤玲子常務理事が出席しました。



11/28 自由民主党県議団役員の 皆様との懇談

会場：浦和ロイヤルパインズホテル
出席：小谷野五雄団長、小島信昭幹事長、
宮崎栄治郎政務調査会長、
荒川岩雄総務会長代理



12/17 民主党・無所属の議員団 との懇談

会場：埼玉県議会会議室
出席：吉田芳朝代表、浅野目義英代表代行、
山川百合子副代表、木村勇夫幹事長、
田並尚明総務会長、高木真理政調会長、
菅 克己議員、井上将勝議員、中川 浩議員



3/2 公明党議員団との懇談

会場：埼玉県議会会議室
出席：西山淳次団長、蒲生徳明幹事長、
藤林富美雄議員



12/22 共産党県議団との懇談

会場：埼玉県議会会議室
出席：柳下礼子団長、村岡正嗣議員、県議団事務局



12/16 社会民主党県議との懇談

会場：埼玉県議会会議室
出席：佐藤征治郎議員

Top
News
2/25

埼玉県生協ネットワーク協議会 第20回JA埼玉県女性組織協議会との早春交流会を開催しました

県内の協同組合の女性組織が活動を交流する、第20回早春交流会が吉見町のフレサ吉見とJA埼玉中央直売所周辺で開催され、意見交換会、いちご生産者訪問、直売所の学習と見学がおこなわれました。JA埼玉県女性組織協議会の見川せつ子会長をはじめ3組合17人、生協からは、滝澤玲子生協ネットワーク協議会会長はじめ5生協19人、事務局8人の計44人が参加しました。



2/9 福祉担当者学習会 介護保険制度改定を前に、 学習会を開催しました



2015年介護保険制度改定を前に、さいたま共済会館で学習会「介護保険制度改定の特徴と新地域支援事業について」を開催し、18人が参加しました。日本生協連福祉事業推進部担当部長 藤田 誠氏を講師に、介護保険制度改定の要点、新しい地域支援事業への準備等を学びました。

1/20 ~ 2/5 埼玉県消費者団体交流会委託事業 県内消費者団体地区別交流会を 3会場で開催しました



2014年度県内消費者団体地区別交流会が川越市、熊谷市、春日部市の県内3会場で開催され、22団体72人が参加しました。昨年の通常国会で成立した改正消費者安全法と地域の見守りネットワークづくりをテーマに、地域での見守り活動について話し合われました。

2/16

2014 年度第2回定期協議 埼玉県と埼玉県生協連の 定期協議が開かれました

埼玉県との2014年度第2回定期協議を開催しました。県生協連から2015年度の計画、会員生協の取り組み等を報告し、県からは、「2015年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望への回答」があり、意見交換をおこないました。



広がる県内生協の 多彩な活動

コープみらい

聖学院大学の寄附講義「地域社会と生協」を16人が履修しました

コープみらいは、地域社会づくりへの参加、社会貢献活動の一環として、聖学院大学(上尾市)の秋学期で寄附講義・全15回を開講し、16人が履修しました。コープみらいの役職員や組合員、生産者を講師に、地域福祉や商品を通じた社会貢献、組合員の取り組みなどについて、グループワークや現場体験を通して理解を深め、地域における協同と連帯の力によって問題の解決にあたることの大切さ、生協の果たす役割と可能性を学びました。

写真:店舗での商品販売を体験しました

パルシステム埼玉

ありがとうday! パルシステム埼玉平和募金

2014年度「パルシステム埼玉 平和募金」の報告会・贈呈式を開催しました。募金は、同じ地球にくらす子どもと女性とその地域社会のために、国際支援活動をおこなっているNGOなどと連携した平和の取り組みで、11月17日～28日の期間、対象の5団体に185万6100円が寄せられました。当日は、現地の様子と募金の使いみちについて報告され、田原けい子理事長から目録が贈呈されました。



生活クラブ生協

エコロ助成金審査会を 開きました

2月21日、2014年度エコロ基金助成の審査会(第二次審査)をおこないました。各団体からのプレゼンテーション審査による二次審査会は公開でおこなわれ、80名以上の参加者の中、各団体から事業計画が発表されました。プレゼンテーション後、査員による投票を行い、16団体に総額321万円の助成を確認しました。今年度は、子育て関連に多くの票が集まったほか、高齢者への活動にも関心が寄せられました。

エコロ基金:安心して暮らせるまちづくりへ、エコロ(たすけあい)会費の一部を、地域で子育て・障がい・高齢に関する活動を行う団体・個人への支援に積み立てています。



医療生協さいたま

韓国の医療生協が来訪 ～事業と組合員活動を交流しました

1月26日、27日の2日間、韓国の3つの医療生協から理事長・医師など12人が視察に訪れました。韓国の医療生協の合併や病院の建設などに生かすことを目的に、老健みぬま、大井協同診療所、埼玉協同病院、生協歯科の各施設を見学し、事業運営、地域医療について懇談しました。また健康ひろばで行われているストレッチ体操や支部活動拠点での食事会に参加した他、機関紙の仕分け作業を見学するなど、組合員活動を体感していただきました。



さいたま住宅生協

「住まいのホームドクター」を 目指して

組合員の提案を具体化し「住まいのホームドクター」を目指して、その第一歩となる《住宅生協と地域の組合員を結ぶ住宅生協取次所》事業を始めます。購買生協や医療生協などと性格が異なり、日常的な組合員との結び付きをどう強めるかが課題です。地域の組合員の協力を得て、取次所の看板を設置することで地域にある住宅要求を集め、また住宅生協から取次所を通じて情報を発信することで、結び付きを強め、住宅生協の発展を目指します。



さいたま高齢協

生協運営への理解を深める 職員研修会を開催

1月21日、生協運営への理解を深めようと県生協連と共催で学習会を開催し、16名が参加しました。山形県高齢者福祉生協の菅原文男理事長を講師に、班活動と地域での連携の活動を学び、中期計画や介護保険法改定に伴う取り組み等を意見交流しました。



コープネット事業連合

シエラレオネ共和国の子どもたちの 栄養改善プログラムを支援

コープネットグループは、コープマークの牛乳1本お買い上げにつき1円をユニセフに寄付し、アフリカの子どもたちの栄養改善プログラムを支援しています。2014年度～2016年度はシエラレオネ共和国を支援対象としています。合計で約1,167万本の牛乳をご利用いただきました。コープデリ宅配では、個人募金も呼びかけ、コープネットグループ全体で、1月20日現在で合計約233万円が寄せられています。

